

「第39回風に関するシンポジウム」の開催のお知らせ

1. 共 催：地震学会，土木学会(幹事学会)，日本海洋学会，日本気象学会，日本建築学会，日本航空宇宙学会，日本地理学会，日本農業気象学会，日本林学会，日本流体力学学会，日本風工学会
2. 日 時：1993年3月4日(木) 9:30~17:20
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂
(東京都新宿区四谷1丁目無番地，JR・地下鉄「四ツ谷駅」下車，徒歩3分，電話03-3355-3441)
参加自由・参加費無料

編集後記：「天気」の編集委員会には出版社から気象関係の新刊図書が送られてくる。送られてきた図書については、編集委員会で適当な方に書評をお願いして「本だな」に掲載している。

ある日の編集委員会の帰りに神田の古本屋に寄ってみた。すると、先ほどの委員会で書評の執筆者を探していた新刊のはずの図書がもう本棚に並んでいるではないか。本の売主がどう感じたか知る由はないが、著者や編集者にとっては、さっそく買って読んでくれた熱心な人のいたことを喜ぶべきなのか、すぐに古本屋行きになったことを悲しむべきなのか、悩ましい事であろう。「天気」の編集委員になったばかりの者としては、最前までの編集委員会での議論とともに、読者の要望に応えられるような企画と内容を作ることの難しさを感じさせられた出来事であった。

(藤田由紀夫)

お手元に届きました「天気」1月号をご覧になった印象はいかがでしょう。既に昨年の10月号でお知らせ致しましたように、本号から表紙のデザインが一新

され、印刷も電算写植平版印刷(CPS化)に変更されております。

本文は本蘭明朝体12級を使用し、24字×44行(2段組：1頁2112字)となっており、多少文字が大きくなり読み易くなっております。また新しい表紙のデザインはいかがでしょうか。基本的にはこれまでのデザインのコンセプトを継承しておりますが、多少地球環境を意識したデザインになっております。表紙の色も最近の3年間と同じくメタリック系の色調となっております。

今回の印刷方式やデザインの変更などに関連した印象やご意見を積極的に編集委員会までお寄せ下さい。今後の誌面作りの参考とさせていただきます。

CPS化にともない投稿原稿をフロッピーディスクで受付致します。本号の「天気」投稿案内にあります「フロッピーディスクの原稿提出要領(暫定)」を参考に、投稿をお願い致します。

(編集委員長)